

全身麻酔や入院が必要な手術にも対応
最新知識のもと、多様な治療法を提供

▶ 皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍

外科的手術、冷凍凝固療法、電気焼灼、炭酸ガスレーザー、植皮、皮弁などをします。

▶ レーザー治療

Q スイッチアレキサンドライトレーザーで、太田母斑、後天性両側性太田母斑様色素斑、異所性蒙古斑、外傷性刺青などを治療します。

▶ 莓状血管腫（乳児血管腫）に対するプロプラロール内服療法

当院では入院の必要は無く、外来で実施しています。

▶ 円形脱毛症

重症例では SADBE や DPCP による局所免疫療法、ステロイド局所注射、ステロイドパルス療法などを行います。さらに DPCP とアントラリン (anthralin) 軟膏の併用療法の臨床試験を実施中です。

▶ 褥瘡

必要時はポケット切開、壊死組織の除去、及び局所陰圧閉鎖処置も行います。

▶ 乾癬

外用療法、紫外線療法、内服療法、生物学的製剤ができます。

▶ 水疱症

重症例には、ステロイド内服、免疫抑制剤内服、免疫グロブリン大量療法などをします。

▶ 多汗症のボツリヌス注射

▶ アトピー性皮膚炎やじんましの生物学的製剤

▶ 内臓疾患に伴う皮膚病変

▶ 陥入爪

▶ スギやダニの舌下免疫療法



staff

部長	鑑 慎司 (かがみ しんじ)
医長	中馬 久美子 (ちゅうまん くみこ)
医員	岸 由利子 (きし ゆりこ)
医師	松田 一樹 (まつた かずき)
医師	田中 弘子 (たなか ひろこ)
特別顧問	日野 治子 (ひの はるこ)